

原爆と差別

中条一雄

K. Chujo

被爆についての悲惨な話には
根拠もなく、いたすらに
えつけるのは、むしろヒロシマ
別意識の国だ

朝日新聞

中条一雄

「原爆と差別」は、自ら被爆者である中条編集委員が既成のテーゼとタブーに大胆に挑戦し、実態に一步も二歩も踏みこんで書いた、白眉のレポートであり、戦後日本の「平和運動」の「業」の深さとそれをのりこえる視野の広かりの展望をきりひらこうとする意欲の鋭さは、読みすすむほどに敬服せすにいられなかった。

「朝日新聞」1985年9月29日付「私の紙面批評」(山下肇・東大名誉教授)より

ISBN4-02-255571-8 C0036 ¥900E

中条一雄（ちゅうじょう かずお）

1926年大阪生まれ。1986年5月編集委員を最後に朝日新聞社を退社。評論家。著書に『たかがスポーツ』『私のヒロシマ原爆』『原爆乙女』『危機に立つオリンピック』『スポーツ人間ちよっといい話』（いずれも朝日新聞社刊）などがある。

原爆と差別

1986年7月25日第1刷発行

定 価 900円

著 者 中条一雄

発行者 川口信行

印刷所 共同印刷株式会社

発行所 朝日新聞社

〒104 東京都中央区築地5-3-2

電話 03-545-0131（代表）

編集・図書編集室 販売・出版販売部

振替 東京0-1730

©Kazuo Chujo 1986

ISBN 4-02-255571-8

Printed in Japan